

# 生活科学習指導案

平成 20 年 10 月 9 日(木)～11 月 7 日(金)

指導者 今井絵里沙（1 年 担任）

加藤 靖和（長期研修員）

1 単元名 「すいすいさわやかきもちがいいね」（小単元・「あきののやま」「つくってあそぼう」）

## 2 考 察

(1) 児童の実態（男子 6 名、女子 2 名、計 8 名）

### 【これまでの学習】

児童はこれまでに、草花を使ってシロツメクサのかんむりやおめんなどをつくって遊んだり、ダンゴムシやオタマジャクシなどの生き物を見付けたりして、身近な自然とかかわる楽しさを体験している。また、育てた夏野菜の収穫パーティーをしたり、水遊びや七夕遊びなど夏ならではの遊びをしたりして、みんなで季節の行事を楽しむ活動を体験している。

### 【生活への関心・意欲・態度】

このような体験を通して、児童は身近な植物や生き物に関心をもつようになり、「トンボが飛んでいたよ」「カマキリがいたよ」など昆虫の発見を喜んだり、「アサガオが咲いたよ」「ミニトマトが大きくなったよ」など育てた植物の生長を期待したりするようになってきている。また、全校集会として行った七夕集会では、保育園児やお年寄りと一緒に七夕飾りをつくったり願い事を書いたりする活動を通して、身近な人たちとかかわりながら自分たちの生活を楽しくしようとする態度が見られるようになってきている。しかし、物をつくるのは好きだが自分の思った通りにできないと「先生、やってください」と言ってすぐ教師に頼む、自分のやったことに自信がもてず、「先生、これでいいですか」と教師に確認しないと次の活動に移れないなど、自ら進んで行動できない児童も見られる。

### 【活動や体験についての思考・表現】

春の草花遊びでは、花や葉の特徴を考えて草花のレストランごっこをして遊ぶことができた。その際、「～するといいよ」「～しようよ」など、友達同士で教え合ったり相談したりする様子も見られ、遊びを工夫することもできるようになってきている。また、夏を楽しむ会を計画する際、ピーマンやトウモロコシなどの育てた野菜をどうするか話し合うことで、自分たちの思いや願いを生かした会を楽しむことができた。なお、このような活動の終わりには、振り返る活動の一つとして楽しかったことなどをカードに表現してきているが、自分の伝えたいことを文章でうまく伝えられず、絵で表現する児童が多い。

### 【身近な環境や自分についての気付き】

児童は、生活科の学習を行う中で、「草花でいろいろ遊べること」「生き物を見付けたりつかまえたりしやすい場所があること」「春から夏へと季節が移り変わり、自分の生活も変化してきていること」「夏には夏の行事があること」などに気付くことができた。しかし、対象と自分とのかかわりを深めることを通して自分のよさや成長を意識することはなく、対象への気付きを自分自身への気付きまで質的に高めるまでには至っていない。

## (2) 単元について

### 【学習指導要領の目標・内容との関連】

本单元は、学習指導要領の学年の目標(2)「自分と身近な動物や植物などの自然とのかかわりに関

心をもち、自然を大切にしたり、自分たちの遊びや生活を工夫したりすることができるようとする。」の実現を目指し、内容（5）「季節の変化と生活」、（6）「自然や物を使った遊び」に基づいて設定した。また、新小学校学習指導要領に新設された学年の目標（3）「身近な人々、社会及び自然とのかかわりを深めることを通して、自分のよさや可能性に気付き、意欲と自信をもって生活することができるようとする。」や内容（9）「自分の成長」も考慮して設定した。

### 【学習内容】

本单元「すいすいさわやかきもちがいいね」は、小单元「あきののやま」「つくってあそぼう」と、次小单元「あきのたからものたいかいをしよう」で構成した。

小单元「あきののはら」では、まず、校庭や学校周辺で春や夏との違いを見付け、草花や樹木、生き物などの様子から、季節が秋へと変化したことに気付く。そして、野山に出かけ、いろいろな秋を探したり秋の自然物と遊んだりすることを通して、体全体で秋を感じる。さらに、これらの活動の際に気付いたことを記録した「見つけたよカード」をまとめたり比べたりして、活動してよかったことを伝え合うことで、興味・関心をもっている自分に気付く。

次に、小单元「つくってあそぼう」では、秋への様々な気付きを基にして、秋の自然物を利用したおもちゃや飾りを考える。そして、必要な物を学校の周りから集めたり、教室に用意された物から選んだりしながら、自分の思いや願いを生かして自発的な製作活動を行う。活動中、気付いたことや友達に知らせたいことは「見つけたよカード」に書いて掲示する。友達や教師はそのカードや活動の様子を見て、感想や意見などのメッセージを「すごいねカード」に書いて送る。さらに、自分の取組のよさや工夫などを伝え合う活動や、友達のつくったおもちゃで遊んだりつくり方を教え合ったりする交流活動を行う。このような活動を通して、製作に没頭する面白さや遊びを工夫する面白さ、友達とかかわって遊ぶ楽しさを実感するとともに、得意なことができた自分、工夫することができた自分、よさを發揮できた自分に気付く。

最後に、様々な秋に気付けたこと、製作に没頭し遊びを工夫したこと、友達とかかわりながら楽しく遊んだり教え合ったりできたことを振り返り、単元を通してできるようになったこと、がんばれるようになったことなどに目を向けることで、成長した自分に気付く。

なお、この学習は次小单元「あきのたからものたいかいをしよう」につながる。ここでは、つくったおもちゃや飾りをより多くの人に楽しんでもらうために、みんなで協力してお店や飾り付けを工夫してつくりたり招待状を書いたりして大会の準備をする。そして、上級生や先生、地域の人々などの身近な人々を招待して「あきのたからものたいかい」を行い、それまでの学習で気付いた自分のよさを發揮しながら意欲と自信をもって活動できると考える。

### 【身に付く力、学ぶ価値】

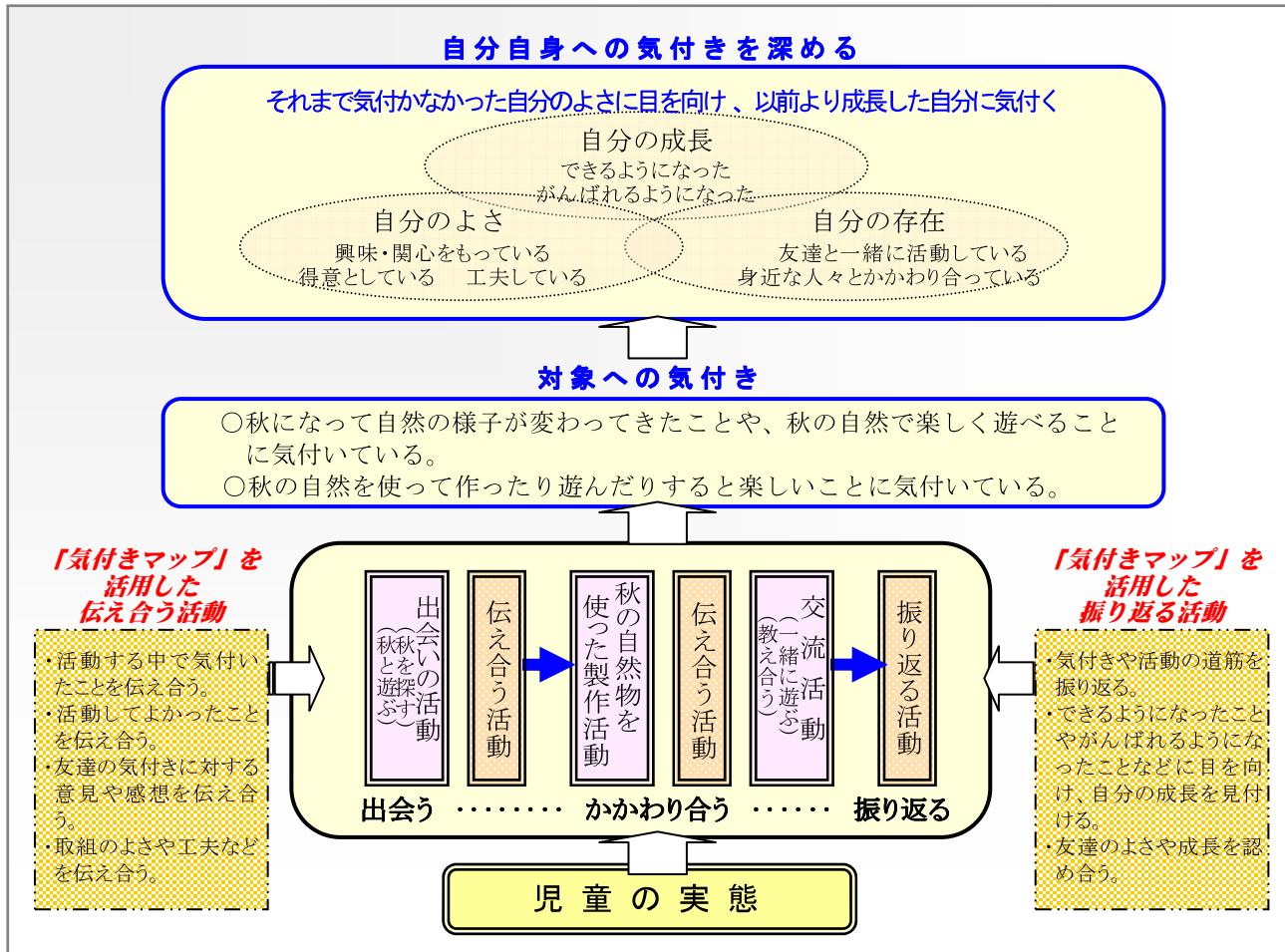
このように児童は、身近な秋を実感したり、秋の自然物を利用して遊びや遊びに使う物をつくりたりして、季節の変化や自然物を使った遊びの面白さに気付き、自分たちの生活を工夫したりみんなで遊びを楽しんだりすることができる。さらに、単元の始めにはできなかったことができるようになったり、これまで気付かなかった自分の中に目が向くようになりすることで、以前の自分より成長したことに気付き、自分自身への気付きを深め、新たな学習や生活に意欲と自信をもって取り組むことができるようになると考え、本单元を設定した。

### (3) 指導の方針

#### 【研究との関連】

- 学習過程を「出会う」過程、「かかわり合う」過程、「振り返る」過程で構成する。それぞれの過程で、対象への気付き、思いや願い、友達からのメッセージ、活動の様子を写した写真などを掲示

した「気付きマップ」を活用し、伝え合う活動や振り返る活動を工夫する。



### 【出会う過程】

- 季節が秋へと変化してきたことに自ら気付くことができるようにするために、校庭やその周辺で春や夏との違いを見付ける活動を設定する。さらに、春や夏にも出かけた同じ探検コースを回ることで、季節の移り変わりを実感し、様々な秋を見付けたり秋の遊びを体験したりできるようする。
- 秋への様々な気付きを自覚できるようにするために、児童の発言や行動に対して価値付けたり意識付けたりする言葉かけを行うとともに、気付いたことを「見つけたよカード」に記入できるようとする。
- 様々な気付きがあったことを視覚的に捉えられるようにするために、秋への気付きをまとめたり比べたりしながら「見つけたよカード」を「気付きマップ」に貼っていく。そして、「活動してよかったこと」を伝え合えるようにすることで、秋の自然物や遊びに興味・関心をもった自分に気付くことができるようとする。

### 【かかわり合う過程】

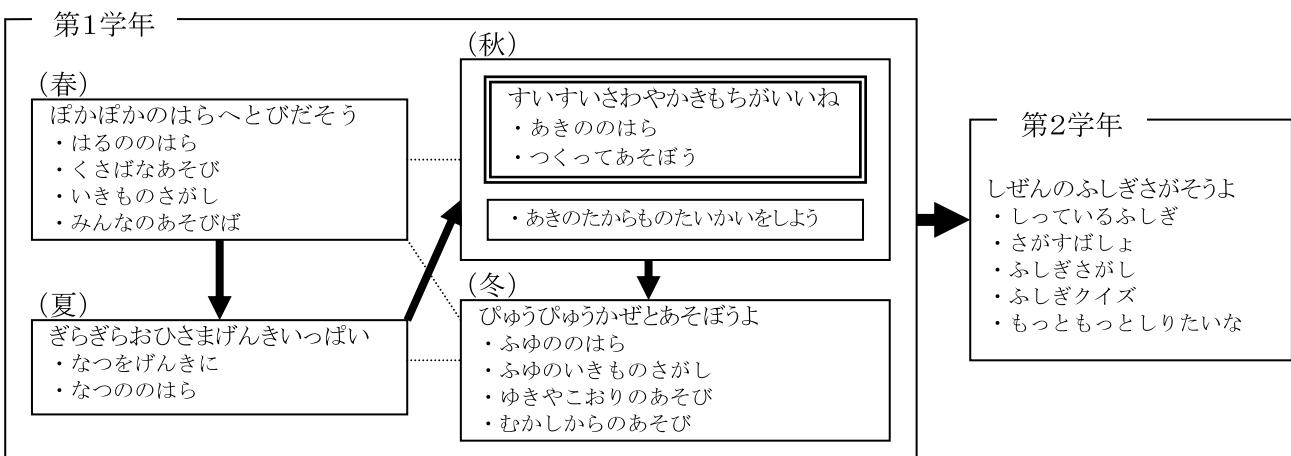
- 「気付きマップ」に掲示された秋への様々な気付きを基にして一人一人が自分の思いや願いをもつことで、秋の自然物を活用したおもちゃや飾りなどの製作が自発的にできるようする。
- 自分の作品や取組の様子を友達にも知ってもらえるようにするために、製作中に気付いたことを「見つけたよカード」に記入して掲示する。そして、友達や教師から意見や感想などのメッセージを書いてもらえるようにすることで、自信をもって製作活動が続けられるようする。
- 友達にメッセージを書くことで、友達のよさに気付き、自分の活動に生かすことができるようする。

- 完成した作品のよいところや工夫したところなどを伝え合う活動を設定する。また、友達のつくれたおもちゃで遊んだり、お互いにつくり方を教え合ったりする交流活動を設定する。これらの活動を通して遊びを工夫する面白さや友達とかかわって遊ぶ楽しさを実感できるようにするとともに、得意なことができた自分、工夫することができた自分、よさを發揮できた自分に気付くことができるようとする。

### 【振り返る過程】

- 気付きや活動の道筋を見通せる「気付きマップ」を活用することで、「みんなと様々な秋に気付けた自分」「製作に没頭し、遊びを工夫できた自分」「友達とかかわって楽しく遊んだり教え合ったりできた自分」を再確認できるようにする。そして、できるようになったこと、がんばれるようになったこと、やり通せたことなどに目を向けて振り返りカードに文章表現することで、成長した自分に気付くことができるようとする。

### (4) 単元の系統



### 4 目標

- 身近な秋を見付けたり秋の自然を利用して遊びや遊びに使う物をつくりたりして、季節の変化や自然物を使った遊びの面白さに気付き、自分たちの生活を工夫したりみんなで遊びを楽しんだりする。
- それまで気付かなかった自分のよさに目を向け、以前より成長した自分に気付く。

### 5 評価規準

学習活動 (小単元名)	生活への関心・意欲・態度	活動や体験についての思考・表現	身近な環境や自分についての気付き
あきの のはら	○進んで秋を見付けたり、体全体で秋を感じたりしようとしている。	○秋の自然を生かした遊びを工夫している。	○秋になって自然の様子が変わってきたことや、秋の自然で楽しく遊べることに気付いている。 ○自分が興味・関心をもったことに気付いている。
つくって あそぼう	○秋の自然物を使って、おもちゃや飾りなどを進んでつくろうとしている。 ○自分のよさや友達のよさを見つけようとしている。	○秋の自然物の特徴を生かしておもちゃや飾りなどつくり、遊びを工夫している。	○秋の自然を使ってつくったり遊んだりすると楽しいことに気付いている。 ○自分のよさや成長に気付いている。

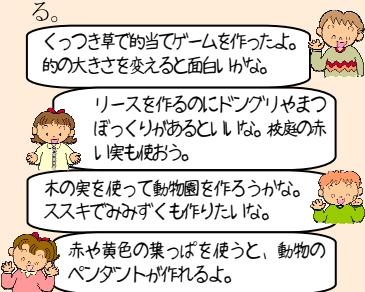
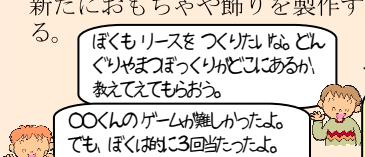
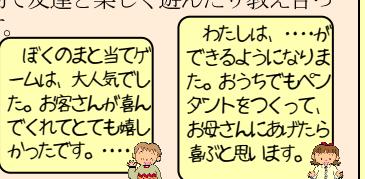
## 6 指導計画

(1) 小単元名 「あきののはら」 (5時間) 【生活科の内容 (5) 季節の変化と生活】

週	曜	主な学習活動と気付きの流れ	気付きマップを活用した 伝え合う活動や振り返る活動	評価項目 (方法)
出 会 う	2	<p style="text-align: center;"><b>春や夏との違いを見付けよう</b></p> <p>○校庭や学校周辺の自然の様子で、春や夏と違っていることを見付ける。</p> <p>木の葉が赤くなってきたね。 校庭の草に大きなバッタがいたよ。</p> <p>コスモスの花が咲いていたよ。 さつまいものはつばがいっぱいだったよ。</p> <p>○気付いた違いをカードに表現したり、伝え合ったりする。 ○友達の発表を聞いて、見たいことや試したいことがあればやってみる。 ○春や夏に行った野山のことを思い出し、秋の野山でやってみたいことなどを話し合う。</p>	<p>○「見つけたよカード」の使い方を知る。</p> <p>活動しながら、見付けたことや気付いたことなどを「見つけたよカード」に絵や文で表現する。 カードを紹介しながら、春や夏との違いを伝え合う。</p>	<p>○校庭や学校のまわりの自然の様子に関心をもち、進んで春や夏との違いを見付けている。 【関・意・態】 (行動観察)</p> <p>○校庭や学校のまわりの自然の様子が秋になって変化していることに気付いている。 【気付き】 (行動観察・カード)</p>
	2	<p style="text-align: center;"><b>野山に出かけ、秋を楽しもう</b></p> <p>○いろいろな秋を見付けたり、秋の特徴を生かした遊びをしたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クリ拾い</li> <li>・くっつき草</li> <li>・ススキ</li> <li>・木の実集め</li> <li>・落ち葉の布団</li> <li>など</li> </ul> <p>木の実をいっぱい集めたよ。何の実なのかな? 洋服にくっつく草があったよ。先生の背中についたよ。 .....</p> <p>○虫の鳴き声を聞き取ったりすみかを探したりするなど、虫探しをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コオロギさがし</li> <li>・バッタさがし</li> <li>・トンボとり</li> </ul> <p>コオロギの鳴き声を聞いたよ。草の中.... 神社にも大きなバッタがいました。網でつかまました。</p> <p>○秋を見付けたり秋と遊んだりして気付いたことを、カードに表現したり伝え合ったりする。</p>	<p>○活動の様子を写真に撮り、「気付きマップ①」に掲示する。</p> <p>活動しながら、気付いたことなどを「見つけたよカード」に絵や文で表現する。 カードを紹介しながら、見付けた秋や秋との遊びを伝え合う。</p>	<p>○野山で秋を見付けたり秋の自然と遊んだりすることに関心をもち、秋の自然と進んでかかわろうとしている。 【関・意・態】 (行動観察)</p> <p>○秋の自然の特徴を生かして、遊びを工夫している。【思・表】 (行動観察)</p> <p>○秋の自然で楽しむことができることに気付いている。【気付き】 (行動観察・カード)</p>
	1	<p style="text-align: center;"><b>秋への気付きを 伝え合おう</b></p> <p>○一人一人が感じた秋への気付きを発表する。 ○友達の発表を聞いて質問したり感想を伝えたりする。</p> <p>いかの中に入っていたクリを取り出しました。.... どうやって取り出したんですか。</p> <p>バッタを手にのせたらジャンプしました。 手にのせられてすごいと思いました。</p> <p>○「見つけたよカード」をまとめたり比べたりしながら「気付きマップ①」に貼り、気付きの数や種類の多さを実感する。</p> <p style="text-align: center;"><b>活動してよかったですを伝え合おう</b></p> <p>○「気付きマップ①」を基に活動してよかったですを伝え合い、自分が興味・関心をもっていることに気付く。</p> <p>みんなで見つけたから、こんなにいっぱい探せたんだと思ひます。 〇〇くんと一緒に遊んで、...か好きになりました。またやつめかしてです。</p> <p>○自分の気付きや友達の発表を参考にして、木の葉や木の実を使ってやってみたいことを出し合う。</p> <p>木の実を使っておもちゃをつくりました。 赤くなった葉っぱを使ってペンダントをつくるかぎぬ。</p> <p>リースをつくりて家に飾りました。 どんぐりでこまがつくれそうだね。</p>	<p>「見つけたよカード」を基に秋への気付きを伝え合う。</p> <p>質問に答えることで気付きを再確認したり発表内容を補ったりする。</p> <p>「見つけたよカード」をまとめたり比べたりしながら「気付きマップ①」に掲示し、気付いたことを伝え合う。</p> <p>「気付きマップ①」を基に、活動してよかったですを伝え合う。</p>	<p>○秋の自然物や遊びの中で、自分が興味や関心をもっていることがあることに気付いている。【気付き】 (行動観察・カード)</p>

## (2) 小単元名「つくってあそぼう」(9時間)

## 【生活科の内容 (6) 自然や物を使った遊び】

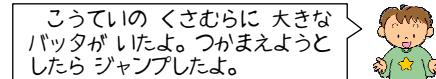
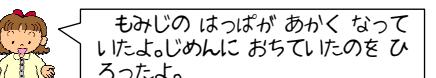
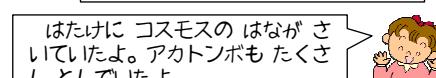
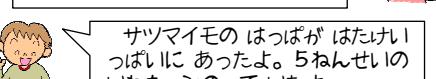
週	曜	主な学習活動と気付きの流れ	気付きマップを活用した 伝え合う活動や振り返る活動	評価項目 (方法)
か か わ り 合 う	5	<p style="text-align: center;"><b>おもちゃやかざりをつくろう</b></p> <p>○木の葉や木の実を使ってやってみたいことを決める。            - ドングリごま      - マラカス      - やじろべえ            - 木の実のおもちゃ    - リースの飾り    - 葉っぱの絵            - まつぼっくりけん玉   - 葉っぱのペンダント    など</p> <p>○遊びや遊びに使うものを作るのに必要な材料を集めます。</p> <p>○自分の思いや願いを生かしながら、おもちゃや飾りを製作する。</p>  <p>くっつき草で的当てゲームを作ったよ。 的の大きさを変えると面白いかも。 リースを作るのにドングリやまつぼっくりがあるといいね。枝庭の赤い実も使おう。 木の実を使って動物園を作ろうかな。ススキでみみずくも作りたいね。 赤や黄色の葉っぱを使うと、動物のペンダントが作れるよ。</p> <p>○友達や教師からのメッセージを読み、作品のよさや取組の工夫に気付く。            ○常時掲示している「気付きマップ②」を見て、いろいろな気付きやよさがあることを知る。</p>	<p>○「気付きマップ②」を常時掲示する。</p> <p>活動しながら見付けたことや気付いたこと、友達に知らせたいことなどを「見つけたよカード」に表現し、「気付きマップ②」に掲示して伝え合う。</p> <p>○「すごいねカード」の使い方を知る。</p> <p>友達の気付きに対する意見や感想などのメッセージを「すごいねカード」で伝える。(児童)            児童の気付きに対する共感や励まし、意欲付けなどのメッセージを「すごいねカード」で伝える。(教師)</p> <p>○活動の様子を写真に撮り、「気付きマップ②」に掲示する。</p>	<p>○木の葉や木の実を使った製作活動に興味をもち、自分のつくりたい物を進んでつくったり、製作や遊びを楽しんだりしている。【関・意・態】            (行動観察)</p> <p>○秋の自然物の特徴を生かして遊びを工夫している。【思・表】            (行動観察・カード)</p> <p>○秋の自然物を生かしてつくったり遊んだりするよさや楽しさに気付いている。【気付き】            (行動観察・カード)</p>
	1	<p style="text-align: center;"><b>おもちゃやかざりを紹介し合おう</b></p> <p>○作品を見せながら、作品のよさや取組の工夫などを発表する。            ○友達の発表を聞いて質問したり感想を伝えたりする。</p>  <p>ぼくはマラカスをつくりました。マラカスは全部暗が道です。            わたしは木の実でてるてるおもちゃを作りました。工夫したこところは……            マラカスの中におねが入っているんですか。            てるてるおもちゃの顔がぐるぐる回ってすみと恵ほしました。</p> <p>○得意になったことや工夫できるようになったなど自分のよさに気付く。</p>  <p>ぼくはキリでドングリに穴をあけるのが得意になりました。            楽器をいっぱい作りました。楽器が好きになりました。</p>	<p>「気付きマップ②」に掲示されている作品への気付き、友達や教師からのメッセージを基に、作品のよさや工夫を伝え合う。</p> <p>「気付きマップ②」や伝え合う活動を基に、得意になったことや工夫できたことなど自分のよさを考える。</p>	<p>○得意としていることや工夫していることに気付いている。【気付き】            (行動観察・カード)</p>
	2	<p style="text-align: center;"><b>みんなで遊んだりつくったりしよう</b></p> <p>○友達がつくったおもちゃと一緒に遊ぶ。            ○友達からつくり方を教えてもらい、一緒につくる。            ○さらにやってみたいことを考え、新たにおもちゃや飾りを製作する。</p>  <p>ぼくもリースをつくりました。どうぐりやまつぼっくりなどにあるか教えてもらおう。            OOKINのゲームが難しかったよ。でも、ぼくはおもしろかったよ。            ぼくもつくつけてあげる。</p> <p>○「気付きマップ③」を活用して、できるようになったことや友達にしてあげられたことなどを伝えたり、友達や教師からメッセージをもらったりする。</p>	<p>○「気付きマップ③」や友達の作品を参考にして、遊びたいことやさらにつくつてみたいことを考える。            ○「気付きマップ③」を常時掲示する。</p> <p>活動しながら、できるようになったことや友達に教えられたことを「できたよカード」で伝え合う。</p> <p>友達へのお礼を「ありがとうカード」で伝える。</p> <p>○活動の様子を写真に撮り、「気付きマップ②」に掲示する。</p>	<p>○自分のよさや友達のよさを見付けようとしている。【関・意・態】            (行動観察・カード)</p> <p>○友達と一緒に遊んだりつくつたりすると楽しいことに気付いている。【気付き】            (行動観察・カード)</p>
振 り 返 る	1	<p style="text-align: center;"><b>気付きや活動を振り返り、成長した自分を見付けよう</b></p> <p>○「気付きマップ①～③」を手掛かりに、出会いの活動で様々な秋に気付けた自分、働きかける活動で製作に没頭し遊びを工夫できた自分、交流活動で友達と楽しく遊んだり教え合つたりできた自分を思い出す。</p> <p>○できるようになった自分、がんばれるようになった自分、得意になれた自分などの観点で自分の成長を振り返る。</p>  <p>ぼくのまとめでゲームは、大人気でした。お客様が喜んでくれてとても嬉しいかったです。            わたしは、……ができるようになりました。おうちでもパンダクトをつくって、お母さんにあがんがら喜ぶと思います。</p>	<p>気付きマップ①～③を基に、これまでの気付きや活動を思い出し、「できるようになったこと」や「がんばれるようになったこと」などを見付ける。</p>	<p>○できるようになったことやがんばれるようになったことなどに気付いている。【気付き】            (行動観察・カード)</p>

## 7 展 開

平成 20 年 10 月 9 日 (木) 第 3・4 校時

### 【学習活動 1】 (1・2/14)

- 1 ねらい 校庭や学校周辺から春や夏との違いを見付けることに関心をもち、季節が変化してきたことに気付く。
- 2 準 備 これまでの学習カード、見つけたよカード、探検バッグ、色鉛筆、帽子、デジタルカメラ
- 3 展 開

学習活動と児童の意識	曜	指導上の留意点	評価項目・方法
<p>1, 本時のめあてをつかむ。</p> <p>○家や登下校時に見付けた春や夏との違いを出し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;">           •きのはが あかくなってきたよ。            •よるになるとむしめないでいるよ。            •いえでくりごはんを たべたよ。         </div> <p>○本時のめあてを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;">           こうていや がっこうの まわりで、はるや なつとの ちがいを みつけよう。         </div> <p>○「見つけたよカード」の使い方を知る。</p>	20	<p>○これまでの学習カードを使って春や夏の活動を振り返り、自然の様子が変わってきたことに目を向けられるようにする。</p> <p>○教室内に、クリ、ススキ、まつかさ、紅葉した葉などを飾っておき、春や夏との違いを考えるヒントとなるようにする。</p> <p>○本時のめあてを提示し、活動の見通しをもてるようする。</p> <p>○家や登下校時に見付けた違いを基に、見付ける視点として、「草や花」「木」「いきもの」などがあることに気付けるようにする。</p> <p>○見付けた違いを自覚できるようにするために、春や夏との違いに気付いたら、「見つけたよカード」に言葉や絵で記入することを説明する。</p>	
<p>2, 校庭や学校周辺で春や夏との違いを見付ける。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;">  </div> <p>3, 気付いた違いを伝え合う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div>	55	<p>○安全面を考慮して、見付ける場所を、前庭、中庭、広庭、学級園とする。その範囲で各自が自由に活動し、自分で違いを見付けられるようにする。</p> <p>○4時間目のはじめにいったん前庭に集まり、気付きを伝え合うこと、12時10分までには教室に入ることを知らせておく。</p> <p>○秋への気付きを自覚することができるようるために、活動中の児童のつぶやきや行動に対し、気付きを価値付けたり意識付けたりする言葉かけを行う。</p> <p>○「見つけたよカード」に表現したことに対して、共感したり認めたりする言葉かけを行い、児童が自信をもてるようする。</p> <p>○「落ち葉のシャワー」「虫を捕まえる」など、見付けた秋で遊んでいる児童がいたら賞賛し、他の児童にもその活動が伝わるようにする。</p> <p>○途中、全員を集め、カードを紹介しながら気付いたことを伝え合う時間を設定する。</p> <p>○友達の気付きを聞いて、自分も見たり試したりしたいことがあつたら、やってみるよう伝える。</p>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">           校庭や学校のまわりの自然の様子に関心をもち、進んで春や夏との違いを見付けている。  <b>【関・意・態①】</b> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行動観察(活動の様子、発言やつぶやき)</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">           校庭や学校のまわりの自然の様子が、秋になって変化していることに気付いている。  <b>【気付き①】</b> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行動観察(発表場面)</li> <li>・カード(見つけたよカードへの記述内容)</li> </ul>
<p>4, 本時の振り返りをする。</p> <p>○春や夏との違いを見付けられたことや、カードに書けたことを振り返る。</p> <p>○秋の野山でやってみたいことを出し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;">           •じんじゅにくりがおちているよ。ひろいたいね。            •はるにあそんだシロツメクサのはらつばは、どうなっているかな。            •どんぐりやまつぼっくりがひろえると いいね。         </div>	15	<p>○教室に戻り、「見つけたよカード」を仕上げる。それを、黒板に貼ったり友達のカードを読んだりすることで、たくさんの違いが見付けられたことを実感できるようにする。</p> <p>○季節が秋に移ったことを確認し、もっといろいろな秋を見付けたり秋と遊んだりするにはどうしたらいいのか考えることで、秋の野山に行きたいという意欲をもてるようする。</p>	

## 【学習活動2】 (3・4/14)

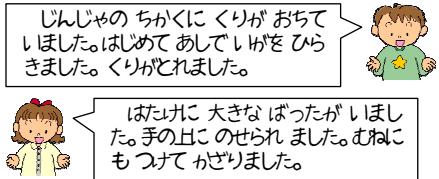
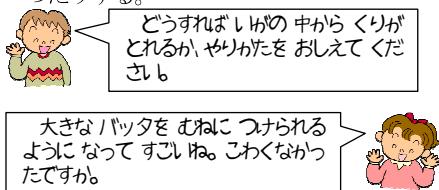
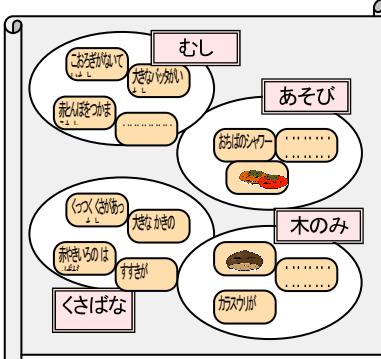
- 1 ねらい 野山で秋を見付けたり秋の自然物と遊んだりすることに関心をもち、体全体で秋を楽しむ。
- 2 準 備 春や夏に野山に出かけた時の写真、見つけたよカード、探検バッグ、捕虫網、ビニル袋、帽子、救急セット、携帯電話、デジタルカメラ

## 3 展 開

学習活動と児童の意識	曜	指導上の留意点	評価項目・方法
<p>1, 本時のめあてをつかむ。</p> <p>○季節が秋へと変化していることを確かめる。</p> <p>○秋の野山でやってみたいことを相談する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>•くりひろいを したいな。</li> <li>•コオロギや パッタを つかまえたいな。</li> <li>•どんぐりや まつぼっくりが ひろえると いいな。</li> <li>•みんなで くっつきぐさあそびを したい です。</li> </ul> <p>○本時のめあてを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>はるや なつに いった の山で、あき を見つけたり あきと あそんだり しよう。</p> </div>	15	<p>○「見つけたよカード」に記入した前時の気付きを紹介しながら、諸感覚を使って見付けられたことや草花で遊べたことを賞賛する。</p> <p>○春や夏に野山に出かけた時の写真を見たり、「秋の野山でやってみたいこと」を一人一人発表したりすることで、秋の野山がどうなっているか期待をもつことができるようとする。</p> <p>○本時のめあてを提示し、活動の見通しをもてるようとする。</p> <p>○見付けた秋や秋の自然と遊んで楽しかったことなどが自覚できるようにするために、気付いたことを「見つけたよカード」に言葉や絵で記入することを説明する。</p>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">           野山で秋を見付けたり秋の自然と遊んだりすることに関心をもち、秋の自然と進んでかかわろうとしている。         </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">           【関・意・態②】            •行動観察(活動の様子、発言やつぶやき)         </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">           秋の自然の特徴を生かして、遊びを工夫している。         </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">           【思・表①】            •行動観察(活動の様子、発言やつぶやき)         </div>
<p>2, 野山に出かけ、様々な秋を感じたり楽しんだりする。</p> <p>○いろいろな秋を見付けたり、秋の自然の特徴を生かした遊びをしたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>•途中の坂道でドングリを拾う。</li> <li>•神社の近くでクリを拾う。</li> <li>•くっつき草で友達とくっつけっこをする。</li> <li>•ススキを集めてミミズクをつくる。</li> <li>•赤や黄色の木の葉を集めめる。</li> <li>•落ち葉を集めてお布団にする。 など</li> </ul> <p>○虫の鳴き声を聞き取ったりすみかを探したりして、虫探しをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>•草の中のコオロギをさがす。</li> <li>•跳んでいるパッタを手でつかまる。</li> <li>•捕虫網を使ってトンボをとる。 など</li> </ul>	65	<p>○自然の変化に気付くことができるようするために、春や夏と同じコース(学校～①さくら保育園裏～②千原神社～③千原ドーム～④慈眼寺～学校)を回るようにする。</p> <p>○安全面を考慮し、移動時は全員でまとまって歩くようにする。各活動場所では各自がそれぞれ考えた活動を行えるようにする。</p> <p>○前時の活動を生かした気付きや遊びができるようにするために、「～もいい匂いがするね。」「校庭とは違った実があるね。」「この蔓でも遊べるね。」など、前時の活動と関連付けた言葉かけを行う。</p> <p>○秋への気付きを自覚できるようにするために、活動中の児童のつぶやきや行動に対し、気付きを価値付けたり意識付けたりする言葉かけを行う。</p> <p>○「見つけたよカード」に表現したことに対して、共感したり驚いたりする言葉かけを行い、児童が自信をもてるようにする。</p> <p>○体調面を考慮し、千原ドームでトイレ休憩や水分補給を行う。カードへの記入が進んでいない児童には、この時間を利用するとよいことを伝える。</p> <p>○休憩後、全員を集め、カードを紹介しながら気付いたことを伝え合う時間を設定する。</p> <p>○友達の気付きを聞いて、自分も見たり試したりしたいことがあったら、やってみるよう伝える。</p>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">           秋の自然の特徴を生かして、遊びを工夫している。         </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">           【思・表①】            •行動観察(活動の様子、発言やつぶやき)         </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">           秋の自然で楽しむことができることに気付いている。         </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">           【気付き②】            •行動観察(活動の様子、発言やつぶやき)         </div>
<p>3, 秋への気付きや秋との遊びを伝え合う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>みつけたよ レバをひらいてくりをとったよ。</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>みつけたよ あみでトンボをつかまえたよ。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>みつけたよ こおろぎはくさのなかにいたよ。</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>みつけたよ ススキのほのかせにゆれていたよ。</p> </div> </div>	10	<p>○まだ記入し終わっていない児童やもっとかきたい児童に対して、カードに記入できるような時間を確保する。</p> <p>○「見つけたよカード」を黒板に貼ったり友達のカードを読んだりすることで、いろいろな秋を見付けたり秋と遊んだりできたことを確認できるようにする。</p>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">           行動観察(活動の様子、カード(見つけたよカードへの記述内容)         </div>
<p>4, 本時の振り返りをする。</p> <p>○秋の自然を見付けられたことや、秋の自然と遊べたことを振り返る。</p>			

## 【学習活動3】 (5/14)

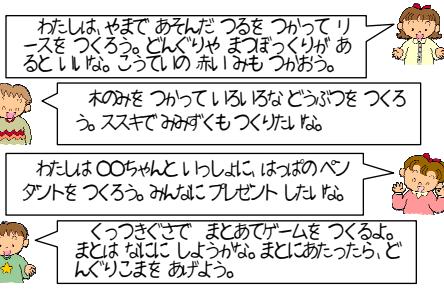
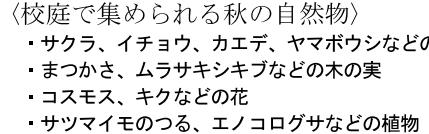
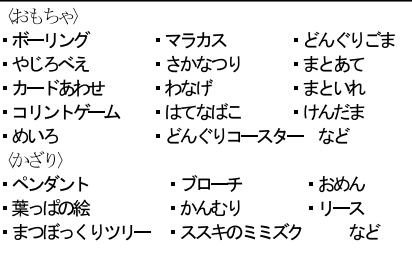
- 1 ねらい 秋への気付きを伝えたりまとめたりする活動を通して活動してよかつたことを振り返り、興味・関心をもつてることに気付く。
- 2 準備 見つけたよカード、気付きマップ①(模造紙、タイトル、写真)、吹き出し
- 3 展開

学習活動と児童の意識	曜	指導上の留意点	評価項目・方法
1, 秋への気付きを伝え合う。 ○一人一人が感じた秋への気付きや秋の遊びを発表する。  ○友達の発表を聞いて、質問したり感想を言ったりする。 	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>○発表や質問がしやすくなるように、児童のイスを半円状に並べ、その前で一人一人順に発表できるようにする。</li> <li>○「見つけたよカード」に記入してある内容を基にして、見付けたことや遊んで気付いたことなどを発表できるようにする。</li> <li>○聞いている児童には、発表後に感想を言ったり質問したりすることを伝えておく。</li> <li>○事前に児童の気付きの内容を把握し、共感や励まし、意欲付けなどのメッセージを伝えるようする。</li> </ul>	
2, みんなの「見つけたよカード」を比べたりまとめたりしながら、気付きマップ①に貼る。 	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>○カードに記入された内容を基に、「見つけたよカード」を「むし」「つる」「きのみ」「あそび」「くさ・はな」「きのこ」に仲間分けすることで、様々な種類の気付きがあつたことを実感できるようにする。</li> <li>○仲間分けした「見つけたよカード」を、模造紙でつくった「気付きマップ①」に貼り、視覚的に気付きの広がりを捉えられるようにすることで、たくさんの秋への気付きがあつたことを実感できるようにする。</li> <li>○「気付きマップ①」での気付きの広がりを見て、「活動してよかつたこと」を吹き出し用紙に書く。それを伝え合うことで、興味・関心をもつたことに気付くことができるようする。</li> </ul>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">           友達と一緒に秋を探したり秋と遊んだりすることができた自分に気付いている。  <b>【気付き③】</b> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>行動観察(活動の様子、発表場面での発言内容、つぶやき)</li> <li>カード(吹き出しへの記述内容)</li> </ul>
3, 活動してよかつたことを考え、伝え合う。 <ul style="list-style-type: none"><li>・わたしは、みんなで見つたから、みんなにいっせいにさがせたんだとおもいました。</li><li>・ぼくは、〇〇くんといっしょにあそんで、～がすきになりました。</li><li>・〇〇ちゃんに〇〇をおしえてもらいました。またやってみたいです。</li></ul>	5		
4, 次時からの学習の見通しをもつ。 ○木の葉や木の実などを使ってやってみたすことやできそうなことを出し合う。 		<ul style="list-style-type: none"> <li>○「気付きマップ①」に掲示された自分の気付き、友達の気付き、発表などを参考にしながら、やってみたいこと、できそうなことを発表できるようする。</li> <li>○カードや発表の内容から児童の思いや願いを見取り、次の活動へのヒントとなるような言葉かけをする。</li> <li>○最後に、児童が主体的に活動できるよう、おもちゃや飾りの材料になる自然物があれば、家から持ってくるよう伝える。</li> </ul>	

## 【学習活動4】 (6・7/14)

- 1 ねらい 木の葉や木の実を使ったおもちゃや飾りづくりに関心をもち、自分のつくりたい物を考えて製作する。
- 2 準備 見つけたよカード、すごいねカード、画用紙、色画用紙、ボンド、はさみ、のり絵の具、モール、きり、安全マット、セロハンテープ、ようじ 風糸 紙コップ 紙皿 ケース  
秋の自然物（ドングリ、クヌギ、トチなどの木の実、葉っぱなど）

## 3 展開

学習活動と児童の意識	曜	指導上の留意点	評価項目・方法
<p>1, 本時のめあてをつかむ。 ○木の葉や木の実などを使ってやってみたことを決める。</p> <p></p> <p>わたくしは、やまであそんだつるをつけてリースをつくろう。どんぐりやまつぼくくりがあるといいな。こうして秋の木の実もつくれる。</p> <p>木のみをつけていろいろなどうぶつをつくろ。ススキでみがくもつくれいな。</p> <p>わたくしは、おもしろいといくつしょにはつばのペントをつくろうみんなにプレゼントしたくな。</p> <p>くっつきさてまとあひゲームをつくるよ。まとはなにこしようか。まとにあたったら、どんぐりこまをあげよう。</p> <p>○本時のめあてを知る。</p> <p>木のはや木のみをつかっておもちゃやかざりをつくろう。</p>	15	<p>○秋の自然物を使った製作に興味がもてるよう、事前に木の葉や木の実を使った遊びを紹介している本を教室に置いておく。</p> <p>○「気付きマップ①」に掲示されていること、前時に出されたこと、木の葉や木の実の実物を紹介し、やってみたいことを自ら決められるようにする。</p> <p>○やってみたいことが決められない児童には、教師がリース、木の実の動物、ドングリごまなどを見せたり、教科書や本に紹介されている活動を紹介したりして、活動のヒントとなるようにする。</p> <p>○本時のめあてを提示し、活動の見通しをもてるようする。</p> <p>○製作中に気付いたことを自覚したり、友達に知らせたりできるようにするために、工夫したことや頑張ったことを「見つけたよカード」に記入するよう説明する。</p>	
<p>2, 自分で決めたおもちゃや飾りをつくる。 ○必要な材料を集める。</p> <p></p> <p>（校庭で集められる秋の自然物） ・サクラ、イチョウ、カエデ、ヤマボウシなどの葉っぱ ・まつかさ、ムラサキシキブなどの木の実 ・コスマス、キクなどの花 ・サツマイモのつる、エノコログサなどの植物</p> <p>（学校周辺で集められる自然物） ・カキ、クリ、ツツジなどの葉っぱ ・ススキ、センダングサなどの草 ・クリ、ドングリ、カラスウリなどの実 ・その他、クズ、木の枝など</p> <p>○材料や道具を準備したり遊び方を工夫したりしながら、おもちゃや飾りを製作する。</p> <p>予想される活動例</p> <p></p>	60	<p>○一人一人が自発的に活動できるようにするために、はじめに、自分の製作活動に必要な物や使えそうな物を校庭や学校周辺で集める時間を確保する。</p>	<p>木の葉や木の実を使った製作活動に興味をもち、自分のつくりたい物を進んでつくろうとしている。 【関・意・態③】</p> <p>・行動観察（活動の様子、発言やつぶやき）</p>
<p>3, 本時の振り返りをする。 ○「気付きマップ②」で、気付きやメッセージの交流を行う。</p> <p></p> <p>みつけたよ はづくまさん のペントがで きるよ。(はづく みがしつよ)</p> <p>すごいねカード</p> <p>ばなの木のみを よく見つけたね。(ば くもつくってみた)</p> <p>○教室の片付けをする。</p>	15	<p>○一人の気付きをみんなで共有できるようにするために、「気付きマップ②」に掲示された「見つけたよカード」の内容を友達に紹介する。</p> <p>○友達や教師はそのカードや活動の様子を見て、「すごいねカード」に意見や感想などのメッセージを書いて「気付きマップ②」に貼る。</p> <p>○自分の「見つけたよカード」に貼られた「すごいねカード」を読み、自分の気付きのよさや工夫に気付けるようにする。</p> <p>○「すごいねカード」をさらに書きたい児童のための時間を設定する。</p>	<p>秋の自然物の特徴を生かしたおもちゃや飾りを考えている。 【思・表②】</p> <p>・行動観察（活動の様子、発言やつぶやき）</p>

## 【学習活動5】 (8/14)

- 1 ねらい 秋の自然物の特徴を生かしておもちゃや飾りを製作し、秋の自然を楽しむ。
- 2 準 備 見つけたよカード、すごいねカード、画用紙、色画用紙、ボンド、はさみ、のり絵の具、モール、きり、安全マット、セロハンテープ、ようじ、麻糸、紙コップ、紙皿、秋の自然物（ドングリ、クヌギ、トチなどの木の実、葉っぱなど）

## 3 展 開

学習活動と児童の意識	曜	指導上の留意点	評価項目・方法								
1, 本時のめあてをつかむ。  木のはや 木のみを いかして おもちゃ や かざりを つくろう。	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○前時に、秋の自然物の特徴を生かして製作している友達の例を紹介しながら、本時のめあてを伝える。</li> <li>○だいたいの活動終了時刻を知らせておく。</li> </ul>									
2, おもちゃや飾りを製作する。  ○前時に児童が考えた、やってみたいことや つくってみたいもの	35										
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>1 (A児) …けんだまとかんむり うみのなかのさめ</td> </tr> <tr> <td>2 (B児) …かんむり ろぼつと いきもの さかな けんだま</td> </tr> <tr> <td>3 (C児) …前時 早退</td> </tr> <tr> <td>4 (D児) …けんだま いきもの</td> </tr> <tr> <td>5 (E児) …ろぼつと うまのろぼつと からすうりのぼうりんぐ くぬぎのみにかおをかく きでたいこ きのもっきん きのぱいおりん</td> </tr> <tr> <td>6 (F児) …かんむりと けんだまと くりますのかざりと まつぼっくりのかざりと どんぐりのかお</td> </tr> <tr> <td>7 (G児) …けんだま かんむり こま さめ さかな ローラー はっぱでにんげん くつつく</td> </tr> <tr> <td>8 (H児) …かんむりとろぼつと</td> </tr> </table>	1 (A児) …けんだまとかんむり うみのなかのさめ	2 (B児) …かんむり ろぼつと いきもの さかな けんだま	3 (C児) …前時 早退	4 (D児) …けんだま いきもの	5 (E児) …ろぼつと うまのろぼつと からすうりのぼうりんぐ くぬぎのみにかおをかく きでたいこ きのもっきん きのぱいおりん	6 (F児) …かんむりと けんだまと くりますのかざりと まつぼっくりのかざりと どんぐりのかお	7 (G児) …けんだま かんむり こま さめ さかな ローラー はっぱでにんげん くつつく	8 (H児) …かんむりとろぼつと	
1 (A児) …けんだまとかんむり うみのなかのさめ											
2 (B児) …かんむり ろぼつと いきもの さかな けんだま											
3 (C児) …前時 早退											
4 (D児) …けんだま いきもの											
5 (E児) …ろぼつと うまのろぼつと からすうりのぼうりんぐ くぬぎのみにかおをかく きでたいこ きのもっきん きのぱいおりん											
6 (F児) …かんむりと けんだまと くりますのかざりと まつぼっくりのかざりと どんぐりのかお											
7 (G児) …けんだま かんむり こま さめ さかな ローラー はっぱでにんげん くつつく											
8 (H児) …かんむりとろぼつと											
○「気付きマップ②」で、気付きやメッセージの交流を行う。  		<ul style="list-style-type: none"> <li>○前時と同じように、材料コーナー、道具コーナーをつくり、児童が自分の判断で選び、使えるようにする。</li> <li>○製作する中で、材料コーナーにない材料が必要になった時は、教材室や校庭で一緒に探し、児童の思いが生かせるようにする。</li> <li>○児童が発想を広げながら製作活動できるようにするために、児童のつぶやきや行動に対して意図や方向性を確かめて励ましたり、新たな製作に結びつくようなヒントを示したりする。</li> <li>○製作中に気付いたことを自覚したり、友達に知らせたりできるようにするために、工夫したことや頑張ったことを「見つけたよカード」に記入して「気付きマップ②」に掲示できるようにする。</li> <li>○友達や教師はそのカードや活動の様子を見て、「すごいねカード」にメッセージを書き、「気付きマップ②」に掲示できるようにする。</li> </ul>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">木の葉や木の実を使って、おもちゃや飾りを進んで作っている。 【関・意・態④】</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">行動観察(活動の様子、発言やつぶやき)</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">秋の自然物の特徴を生かしたおもちゃや飾りを考えている。 【思・表③】</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">行動観察(活動の様子、発言やつぶやき)</div> <div>・カード (見つけたよカードへの記述内容)</div>								
3, 本時の振り返りをする。  ○「見つけたよカード」「すごいねカード」を基に本時の活動を振り返る。  ○教室の片付けをする。	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「見つけたよカード」「すごいねカード」に書かれた内容を紹介し、一人の気付きをみんなで共有できるようにする。</li> <li>○「すごいねカード」をさらに書きたい児童のための時間を設定する。</li> <li>○児童の作品は気付きマップの近くに置いておき、それを見て「すごいねカード」を常時書けるようにしておく。</li> </ul>									

## 【学習活動6】 (9・10/14)

- 1 ねらい 秋の自然物の特徴を生かしてつくりしたり遊んだりするよさや楽しさに気付く。
- 2 準備 見つけたよカード、すごいねカード、気付きマップ、画用紙、色画用紙、ボンド、はさみ、のり絵の具、モール、きり、安全マット、セロハンテープ、ようじ、凧糸、紙コップ、紙皿、作品展示用の箱  
秋の自然物（ドングリ、クヌギ、トチなどの木の実、葉っぱ、つるなど）

## 3 展開

学習活動と児童の意識	欄	指導上の留意点	評価項目・方法
1, 本時のめあてをつかむ。  きのはや きのみを いかした あそびを かんがえたり、おもちゃや かざりを しあげたりしよう。	10	○一人一人の作品を簡単に紹介しながら、秋の自然物の特徴を生かして製作するというめあてをつかめるようにする。 ○12時をめやすに製作活動が終えられるよう、知らせておく。	
2, おもちゃや飾りを仕上げる。  ○予想される活動と支援	60	○前時と同じように、材料コーナー、道具コーナーをつくり、児童が自分の判断で選び、使えるようにする。 ○「見つけたよカード」「すごいねカード」を置いておくコーナーもつくり、いつでも自分の工夫や友達へのメッセージを書くことができるようにしておく。	
1 (A児) ·木の実でゴルフクラブをつくり、遊べることに気付いた。コースなどくると面白いことなど遊びが広がるような言葉かけをし、遊びの楽しさに気付くことができるようになる。 2 (B児) ·木の実に穴を開けるなど、自分でいろいろ考え、試しながら活動している。自分の考えのよさやつくり出す楽しさに気付くことができるようになる。 3 (C児) ·木の実でお家をつくりたいと思っている。製作の意図や尋ねたり、工夫しているところを賞賛したりすることで、木の実でつくるよさに気付くことができるようになる。 4 (D児) ·紙コップと紙皿を使って車をつくり、木の実を貼り付けている。木の葉や木の実で飾る意図を尋ねたり、工夫しているところを賞賛したりすることで、木の葉や木の実を生かすことのよさに気付くことができるようになる。 5 (E児) ·サラダつくりを継ぎ、スプーンも自分でとってきたつるを生かしてつくっている。つるでその他の道具などもつくれないか言葉かけすることで、自然物を使って様々な物がつくり出せる楽しさに気付くことができるようになる。 6 (F児) ·木の実を飾ったり、お皿に自然物を飾り付けたりしている。つくった飾りをどう生かすか一緒に考えるようにすることで、秋の自然を活用できるよさに気付くことができるようになる。 7 (G児) ·自分の力でいろいろつくる楽しさを感じ始めている。製作の意図を確かめることで、秋の自然物を生かす楽しさに気付くことができるようになる。 8 (H児) ·自分の思いをもち、けん玉やマラカス、タワーをつくっている。自然物を使っている意図を確かめることで、自然物で飾る楽しさに気付くことができるようになる。	木の葉や木の実を使った製作や遊びを楽しんでいる。 【関・意・態⑤】  ・行動観察（活動の様子、発言やつぶやき）		
○作品を展示する。 ○教室の片付けをする。		○「秋の自然物の特徴を生かして」というねらいから製作活動が離れてしまうことがないように、「これから葉っぱをどう使うの。」「木の実をうまく使ったな。すごいぞ。」など、ねらいを思い出せるような言葉かけを行う。 ○秋の自然物を使ってつくりたり遊んだりするよさに気付くことができるようするために、児童が秋の自然物を使った理由や意図を自覚できるような言葉かけを行う。 ○自分の作品をまとめて飾れる箱を用意し、レイアウトを工夫しながら展示できるようになる。	秋の自然物の特徴を生かして製作を工夫している。 【思・表④】  ・行動観察（活動の様子、発言やつぶやき） ・カード（見つけたよカードへの記述内容）  秋の自然物を生かしてつくり遊んだりするよさや楽しさに気付いている。 【気付き④】  ・行動観察（活動の様子、発言やつぶやき） ・カード（見つけたよカードへの記述内容）
3, 本時の振り返りをする。 ○「見つけたよカード」「すごいねカード」を基に本時の活動を振り返る。  	20	○仕上がった作品の工夫したことや頑張ったことなどを自覚することができるようるために、「見つけたよカード」に記入する時間を十分確保する。 ○友達や教師はそのカードや活動の様子を見て、「すごいねカード」に共感や励ましのメッセージを書き、「気付きマップ②」に掲示する。 ○「見つけたよカード」「すごいねカード」に書かれた内容を紹介し、一人の気付きをみんなで共有できるようにする。 ○児童の作品は気付きマップの近くに置いておき、このあとも常時「すごいねカード」を書けるようにしておく。	・行動観察（活動の様子、発言やつぶやき） ・カード（見つけたよカードへの記述内容）

## 【学習活動7】 (11/14)

- 1 ねらい 自分や友達の作品のよさや工夫を伝え合い、自分自身のよさに気付く。
- 2 準備 気付きマップ、吹き出し
- 3 展開

学習活動と児童の意識	曜	指導上の留意点	評価項目・方法
<p>1, 作品のよさや工夫などを伝え合う。</p> <p>○製作した作品を見せながら、よいと思うところや工夫したところを発表する。</p>  <p>ぼくは きのみを ボールにして あそび やきゅうじょうを つくりました。ここまで うつたら、ホームランです。</p> <p>クヌギで、かおが くるくるまわる だるまさんを つくりました。これが わらった かおで、これが おひつた かおです。</p> <p>○友達の発表を聞いて、質問したり感想を言ったりする。</p>  <p>なんたいなん人で しゃいをするんですか。どこから なにで、どこで うんですか。</p> <p>かおが 3かい かわって おもしろい おもしろい ました。どうやって きのみに まどを あけたんですか。おしゃてください。</p>	20	<p>○発表や質問がしやすくなるように、児童のイスを半円状に並べ、その前で一人一人順番に発表できるようにする。</p> <p>○自分の作品のよいと思うところや工夫したところなどを具体的に伝えられるように、発表の際には実際に身に付けたり遊んだりしているところを紹介するとよいことを助言する。</p> <p>○発表後に感想を聞いたり質問に答えたりする活動を行い、より詳しく自分の作品のよさや工夫に気付くことができるようとする。</p> <p>○児童の発表内容に対する共感や励ましなどのメッセージを発表後に伝えるようとする。</p>	
<p>2, 自分のよさを伝え合う。</p> <p>○吹き出しに書く。</p>  <p>ぼくのいいところは、サッカーゲームを はじまで ていねいに しあげた ことです。</p> <p>わたしは どんぐりに あなたを みるのが とくいになりました。あなたを みると どんぐりを つなげる ことが できただの ことです。</p> <p>ぼくが すきになったことは、がつきづくりです。あきの きのみでいろいろなおとを つくりました。</p> <p>○みんなに発表する。</p>	20	<p>○「気付きマップ②」に貼ってある「見つけたよカード」や「すごいねカード」を児童に渡し、そこに書かれていることを基にして、得意になったこと、工夫できるようになったこと、好きになったことなどの自分のよさに気付くことができるようとする。</p> <p>○自分のよさが見付からない児童には、「気付きマップ②」に書かれているよさを教えるようとする。</p> <p>○書くことが苦手な児童には、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ぼくのいいところは、</li> <li>・わたしがとくいになったことは、</li> <li>・ぼくがすきになったことは、</li> </ul> <p>などの書き出しを例示し、書くことに対する抵抗を少なくするようとする。</p> <p>○吹き出しに書いたことを発表することで、友達のよさをみんなで共有できるようとする。</p>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-left: 20px;">自分のよさ、得意なこと、好きなことなどに気付いていく。 【気付き⑤】</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行動観察（発表場面での発言内容、つぶやき）</li> <li>・カード（吹き出しへの記述内容）</li> </ul>
<p>3, 次時の学習の見通しをもつ。</p> <p>○友達のおもちゃや飾りで、できそうなことややってみたいことを出し合う。</p>  <p>やりかたを おそわって わたしも つくってみたよ。</p> <p>おんがくに あわせて がつきを ならそうよ。</p> <p>じかんを はかって きょうそう しよう。</p> <p>やきゅうや サッカーで たせんして あそひよ。</p>	5	<p>○次は2時間続きで、友達がつくった物で遊んだり、つくりかたを教えてもらいながら一緒につくれたりする交流活動を行うことを伝える。</p> <p>○友達の発表や「気付きマップ②」を参考にしながら、やってみたい遊びやつくってみたいものなどを発表できるようとする。</p>	

## 【学習活動8】 (12・13/14)

- 1 ねらい 友達の製作したおもちゃで遊んだり、友達の作品と一緒に作ったりして、みんなで遊びを楽しむ。
- 2 準備 できたよカード、すごいねカード、気付きマップ、画用紙、色画用紙、ボンド、はさみ、のり絵の具、モール、きり、安全マット、セロハンテープ、ようじ、凧糸、紙コップ、紙皿、CDプレーヤー、ストップウォッチ  
秋の自然物（ドングリ、クヌギ、トチなどの木の実、葉っぱ、つるなど）

## 3 展開

学習活動と児童の意識	曜	指導上の留意点	評価項目・方法																						
<p>1, 本時のめあてをつかむ。 ○遊びたいことやつくってみたいことを発表する。</p>  <p>わたしは〇〇ちゃんに きんメダルのつくりかた をおしえてもらいたい です。</p> <p>おしゃべりにあわせて マラカスをならしたい な。</p> <p>ゆみやのまとをつく ってあてこしたくて す。</p> <p>〇本時のめあてを知る。</p> <p>つくったおもちゃで あそんだり、つく りかたをおしえてもらったりしよう。</p>	10	<p>○「気付きマップ②」を基に前時までの活動を振り返ったり、友達のおもちゃや飾りを見たりして、やってみたいことを決められるようにする。</p> <p>○遊びたいことやつくってみたいことを発表することで、意欲をもって活動できるようにする。</p> <p>○本時のめあてを提示し、活動の見通しをもてるようとする。</p> <p>○友達のおもちゃで遊んだり、飾りのつくり方を教えてもらったりした時には、「すごいねカード」や「ありがとうカード」に書いて感想を伝えられるとよいことを説明する。</p>																							
<p>2, 友達のおもちゃや飾りで遊ぶ。</p> <p>〈みんなで楽しめる遊び〉</p> <table border="1"> <tr> <td>・やきゅうゲーム</td> <td>・サッカーゲーム</td> </tr> <tr> <td>・けんたま</td> <td>・きのみおとし</td> </tr> <tr> <td>・ゆみや</td> <td>・がつき</td> </tr> <tr> <td>・ごるふ</td> <td>・車</td> </tr> <tr> <td>・ヨットレース</td> <td>・ルーレット など</td> </tr> </table> <p>〈一緒につくれるおもちゃや飾り〉</p> <table border="1"> <tr> <td>・マツボックリツリー</td> <td>・あめ</td> </tr> <tr> <td>・だるまさん</td> <td>・だんご</td> </tr> <tr> <td>・きんメダル</td> <td>・ロボット</td> </tr> <tr> <td>・がつき</td> <td>・とけい</td> </tr> <tr> <td>・きのみのにんぎょう</td> <td>・やじろべえ など</td> </tr> </table> <p>○教室の片付けをする。</p>	・やきゅうゲーム	・サッカーゲーム	・けんたま	・きのみおとし	・ゆみや	・がつき	・ごるふ	・車	・ヨットレース	・ルーレット など	・マツボックリツリー	・あめ	・だるまさん	・だんご	・きんメダル	・ロボット	・がつき	・とけい	・きのみのにんぎょう	・やじろべえ など	65	<p>○教室内を以下の図のように配置し、時間内に自由に回って活動できるようにする。</p>  <p>できたよ</p> <p>ぼくは〇〇くん にまつぱつくりけ んだまのやりかた をおしえてあげ ました。</p> <p>ありがとうカード</p> <p>おしえてもらっ てじょうずにでき るようになったよ。</p>	15	<p>○一緒に遊んだりつくり方を教え合ったりする中で、「できるようになったこと」や「友達にしてあげられたこと」などを自覚することができるよう、「できたよカード」に記入する時間を確保する。</p> <p>○「気付きマップ③」に貼られた「できたよカード」や「ありがとうカード」の内容を紹介し、一人の気付きをみんなで共有できるようにする。</p>	
・やきゅうゲーム	・サッカーゲーム																								
・けんたま	・きのみおとし																								
・ゆみや	・がつき																								
・ごるふ	・車																								
・ヨットレース	・ルーレット など																								
・マツボックリツリー	・あめ																								
・だるまさん	・だんご																								
・きんメダル	・ロボット																								
・がつき	・とけい																								
・きのみのにんぎょう	・やじろべえ など																								

## 【学習活動9】 (14/14)

- 1 ねらい 秋を見付けたり秋の自然物を生かしたおもちゃで遊んだりしたことを振り返り、成長した自分に気付く。
- 2 準備 気付きマップ、振り返りカード、金メダル
- 3 展開

学習活動と児童の意識	曜	指導上の留意点	評価項目・方法
<p>1, 本時のめあてをつかむ。</p> <p>○「気付きマップ①②③」に貼られているカードを基に、これまでの活動を振り返る。</p> <p>（紹介する内容）</p> <p>みんなと様々な秋に気付けた自分</p> <p>みんなと様々な秋に気付けた自分</p> <p>製作に没頭し遊びを工夫できた自分</p> <p>製作に没頭し遊びを工夫できた自分</p> <p>友達と一緒に遊んだり教えたかった自分</p> <p>友達と一緒に遊んだり教えたかった自分</p>	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「気付きマップ①②③」を黒板に掲示し、気付きや活動の道筋を思い出せるようとする。</li> <li>○それぞれの「気付きマップ」に貼られている、吹き出しあり「見つけたよカード」「すごいねカード」を紹介することで、みんなと様々な秋に気付けたこと、製作や遊びを工夫したこと、友達と一緒に遊んだり教えたかったことを思い出すことができるようとする。</li> </ul>	
<p>○本時のめあてを知る。</p> <p>せいちょうしたじぶんをみつけよう。</p>		<p>○本時のめあてを提示し、活動の見通しをもてるようにする。</p>	
<p>2, 自分の成長を「振り返りカード」に文章でまとめる。</p> <p>とくいになつたよ</p> <p>ぼくのきのみおとしゲームは、だいにんきだつたよ。ともだちがよろこんでくれてとてもうれしかつたよ。....</p> <p>できるようになつたよ</p> <p>わたしは、あきのものをつかってかざりがつくれるよくなつたよ。おうちでもつくって、おかあさんにあがたいにおもいます。....</p>	30	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の成長を自覚することができるようするために、本単元の活動を始める前の自分と今の自分を比べ、「できるようになったこと」「がんばれるようになったこと」「やつてよかつたこと」などのテーマで文章にまとめることができるようする。</li> <li>○文章でまとめる前に、「気付きマップ①②③」をじっくり見直す時間を確保し、気付きマップを基にして自分の成長に気付くことができるようする。</li> <li>○例示として先生が書いた振り返りカードを紹介し、記述のヒントとなるようにする。</li> <li>○早く書けた児童には、発表の練習をしているといことを伝える。</li> </ul>	<p>できるようになったこと、がんばれるようになったことなどの自分の成長に気付いている。</p> <p>【気付き⑦】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行動観察（発表場面での発言内容、つぶやき）</li> <li>・カード（振り返りカードへの記述内容）</li> </ul>
<p>3, 成長した自分を友達に発表する。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○「振り返りカード」に書いた内容を発表できるようことで、友達の成長にも気付き、成長をみんなで共有できるようする。</li> <li>○発表内容を基に児童のよさや成長をまとめた金メダルを渡すことで、成長を喜ぶことができるようする。</li> </ul>	
<p>4, つくったおもちゃや飾りを、もっといろいろな人にも楽しんでもらうにはどうしたらいいか考えを出し合う。</p> <p>こうちょうせんせにきてもらひたよ。</p> <p>たるくをいつしょにしている2年生とあそびひたよ。</p> <p>たぬまたでいつしょだつほくえんじをしよう。</p> <p>おかあさんがきてくれなひよ。</p>	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「もっといろいろな人にも楽しんでもらうにはどうしたらいいか。」を考えることで、次の小単元「あきのたからものたいかいをしよう」の活動が意欲をもってできるようする。</li> </ul>	